



2019女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 15日 日曜日	試合コード	#96
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	ESP	29	前半	30
13-16				
後半				
16-14				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7m c				
—				
—				
Spain (スペイン)				Netherlands (オランダ)

戦況	見出し	今大会を象徴した熱戦となった決勝戦、NEDがESPを破り、歓喜の初優勝
	前半	いよいよ今大会のファイナル、決勝戦がのスローオフで始まった。注目の先制点はESPのNO44のポストシュート。高さとし力強い攻撃のNEDに対して、スピード豊かで多彩な攻撃力を誇るESPとの対戦は、どちらが勝っても初優勝となる注目の一戦でもある。立ち上がりはESPの速攻がさえ、NO86が立て続けに得点し、3対1と主導権を握った。その後もNO99のロングシュートと速攻などで得点を重ね、その差3点とリードを広げた。NEDはESPの堅い守りになかなか得点できない場面もあったが、NO26のサイドシュートやNO8のロングシュートで食い下がった。10分を過ぎると、NEDはNO79のパス回しがさえ、自らも中央からロングシュートを連続で決め、点差を縮める一方、ディフェンスでもNO33のGKを中心として守り切り、9対9と同点とした。その後は一進一退の攻防が続いたが、終盤26分にNEDはNO10のポストシュートで初めてリードした。さらにNEDは攻撃の手を緩めず、前半を16対13でリードして終えた。
後半	後半はNEDのスローオフで始まったが、ESPはNO86の素早い動きでカットインから得点し、パス回しではサイドへのアシストなどで多彩な攻撃を見せた。これに対してNEDはNO79のカットインやポストへのパスで得点を演出して徐々に点差を広げていった。NEDはNO10のロングシュートが決まった時は最大5点差がついた。しかし、ここからESPはサイド攻撃から突破口を開き、NO2とNO30のサイドシュートが連続で決まり、さらにはNEDが全員攻撃で無人のゴールへESPのNO34が流し込んだり、NO86が確実に7mスローで得点し、残り10分で2点差まで詰め寄った。そしてその後は息をのむ攻防が続き、残り1分で29対29の同点。最後に決着をつけたのは、NEDのNO8の7mスロー。ゴールネットを揺るがし、接戦にピリオドを打った。勝ったNEDは初優勝を飾った。両チームとも一歩も引けを取らない決勝戦らしい好ゲームとなった。	



戦況作成者

河野 彰 寛